人とクルマと自然が、いつまでもいい関係でいられるように。

ダイハツは、生産から物流・販売、走行、廃棄に至るすべての段階で、「人」と「環境」に配慮したクルマづくりをめざしています。クルマそのものの低燃費化、低公害化を高次元で実現することはもちろん、ダイハツ工業全体でISO14001※1の認証を取得するなど、さまざまな角度から環境保全対策を推進しています。

環境負荷物質の低減

廃棄時に漏出する恐れがある環境負荷物質（鉛、水銀、六価クロム、カドミウム）の削減は、日本自動車工業会（自工会）の目標を達成しています。

トールの環境仕様

基礎情報	車両型式			4BA-M900S	5BA-M900S	4BA-M900S	5BA-M900S		5BA-M910S		
				GBVJ	GBVE	GBGJ	GBGE	GBME	GBVE	GBGE	GBME
	エンジン	型式		1KR-VET型	1KR-FE型	1KR-VET型	1KR-FE型		1KR-FE型		
		総排気量	(cc)	996							
		使用燃料		無鉛レギュラーガソリン							
	駆動装置	駆動方式		2WD					4WD		
		変速機		CVT							
環境性能情報	燃料消費率※2	WLTCモード※3	(km/L)	16.8	18.4	16.8	18.4		16.8		
		市街地モード(WLTC-L)	(km/L)	12.7	15.5	12.7	15.5		13.9		
		郊外モード(WLTC-M)	(km/L)	18.4	19.7	18.4	19.7		17.9		
		高速道路モード(WLTC-H)	(km/L)	18.3	19.2	18.3	19.2		17.7		
		参考：燃費基準※4達成		2030年度燃費基準60%達成	2030年度燃費基準65%達成	2030年度燃費基準60%達成	2030年度燃費基準65%達成		2030年度燃費基準60%達成		
		CO2排出量	(g/km)	138	126	138	126		138		
	排出ガス	適合規制・認定レベル※5		平成30年基準排出ガス25%低減レベル	平成30年基準排出ガス50%低減レベル	平成30年基準排出ガス25%低減レベル	平成30年基準排出ガス50%低減レベル		平成30年基準排出ガス50%低減レベル		
		規制値・認定値 (g/km)	CO	1.15	1.15	1.15	1.15				
			NMHC	0.075	0.05	0.075	0.05				
			NOX	0.038	0.025	0.038	0.025				
	参考	環境対応車普及促進税制適合		—							
		グリーン購入法適合		—							
	適合騒音規制レベル			加速走行騒音規制値：70dB—A							
	エアコン冷媒の種類(GWP値※6)/使用量		(g)	HFO-1234yf(1※7)/370							
	車室内VOC ※8			自工会自主目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下)							
	環境負荷物質削除	鉛 ＊1		自工会2006年目標達成(1996年比1/10 以下)							
		水銀＊2		自工会目標達成(2005年1月以降使用禁止)							
		六価クロム		自工会目標達成(2008年1月以降使用禁止)							
		カドミウム		自工会目標達成(2007年1月以降使用禁止)							
		自工会目標適用除外部品		＊1.鉛バッテリー(リサイクル回収ルートが確立されているため除外) ＊2.ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージヘッドランプ、室内蛍光灯(交通安全上必須な部品の極微量使用を除外)							
環境への取り組み	リサイクル	リサイクルし易い材料を使用した部品		フロント&リヤバンパー、インストルメントパネル 、ピラーガーニッシュなど							
		リサイクル材の使用		フェンダーエクステンション、エンジンアンダーカバー、ダッシュサイレンサーなど							
		樹脂、ゴム部品への材料表示		あり							
	環境負荷物質使用状況等	鉛		電子基板・電子部品のはんだ、圧電素子に使用							

※1：国際標準化機構(ISO)が1996年に制定したマネジメント(EMS)の国際規格。環境負荷を継続的に低減できるシステムを構築した企業、自治体の組織などに認証が与えられます。 ※2：国土交通省審査値。燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境（気象、渋滞等）や運転方法（急発進、エアコン使用等）に応じて燃料消費率は異なります。 ※3：WLTCモードは、市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。市街地モードは、信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定し、郊外モードは、信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定、高速道路モードは、高速道路等での走行を想定しています。 ※4：省エネ法に基づき定められている燃費目標基準。 ※5：WLTCモード走行。 ※6：GWP：Global Warming Potential（地球温暖化係数） ※7：フロン法において、乗用車用エアコン冷媒は、2023年度以降、環境影響度を製造者等ごとに出荷台数で加重平均した値が目標値150を上回らないことが求められております。 ※8：厚生労働省が2002年1月に定めた指定物質で自動車に関する物質の指針値。